

学校だより

令和4年
12月号
12月1日
発行
笠置
中学校



【笠中 HP】



大切な冬・・・

校長 井上 弘規

保護者・地域・関係機関の皆様には、日頃より本校教育推進のために、ご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。早いもので、季節は晩秋から初冬への変化の中、大気は確実に一朝ごとにその冷たさを増しています。どうぞご自愛いただき、健やかに過ごしてください。

学校では、2学期当初の体育大会において、全校生徒の躍動する姿がそここに見えました。全力で疾走する姿、敗れても惜しみなく拍手する姿、後輩を思いやる姿、友達を気遣う姿、たくましさ、やさしさ、すべてが込められた行事だったと思います。また、その成果は後に実施した三年ぶりの合唱コンクールにも大いに活かされました。相楽地方の十一校が集う音楽交流会では、大規模校にも全く引けを取らない合唱発表に触れ、生徒たちを誇らしくさえ感じました。そのような本校生徒たちへ、十二月という時期を踏まえながら、応援メッセージを贈ります。

『冬の草木は地上では枯れ果てて見えますが、地中では水を吸収し、冬に続く季節、春に新しい緑の葉を伸ばす準備をしています。』「冬」は寒く辛い季節と思われがちですが、目に見えないところで無くてはならない重要な季節なんです。3年生の今は、こんな「冬」の季節かもしれないですね。よって、このように「希望に満ちあふれた春」への貴重な準備の時期であることをしっかり認識して、今なすべきことに向き合い努力してください。力強い歩みを期待しています。このことは一・二年生にも同様に当てはまります。無くてはならない「大切な冬」を力強く歩み、春に新しい希望の葉をぐんぐん伸ばしましょう。さらに続けます。皆さんは世界三大喜劇王の一人、チャペリー・チャップリンを知っていますか？ ある時、

記者に「今まで創られた映画の中で最高傑作は何ですか？」と質問されました。彼はすぐに「Next one」＝「次の作品だ」と答えたということです。常に向上心を持ち、その都度、最大限の努力をし、そして、最善のものを追求するという姿勢には学ぶことが多いです。生徒の皆さんが目指した「さらなる高みへー」に通じるものですね！



いよいよ十二月です。この一年を振り返り、希望に満ちあふれた春に向かって「大切な冬」をしっかりと過ごしてくれることを祈りつつ、心からの応援メッセージを贈ります。



第八波

新型コロナウイルスが猛威を振るい始め早3年、まだまだ終息の気配は見られません。少し収まってきたかと思うと、また上昇に向かうといったことを繰り返しています。ここで今一度、当たり前のことを当たり前に行う習慣を心がけたいものです。

- ・外から中に入るときには手洗い、うがい、手指消毒
- ・人との距離をとる。とれないときには、マスク着用（室内はマスク）
- ・換気 ※今も、濃厚接触の判断基準の中心は「マスク着用」です！



生徒総会

11月16日（水）は生徒総会が行われました。3年生から2年生にバトンタッチされ、ここからは2年生が笠置中学校の中心となって、いろいろなことを進めていきます。もちろん、そこには1年生の力も必要になってきます。大きな3年生の背中を見て学んだこと、それを踏まえつつ、自分たちのカラーを出して行ってほしいと思います。自ら考え、主体的に行動する3年生を超えていくためには、地に足をつけ一步一步進んでいく地道な努力が必要です。すぐにその背中に追いつけるわけではないので、これからの活動に期待しています。2年生・1年生頑張れ！



